

SoftBank
Technology

第24期

第2四半期

株主通信

Online Business Solution & Service
Cloud Enabling®

財務ハイライト

第24期 第2四半期連結業績

(自平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

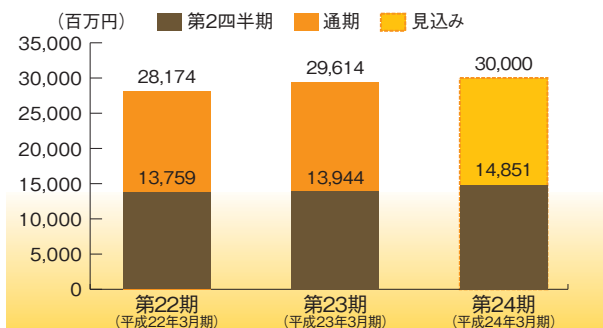
売上高 **14,851百万円**

経常利益 **682百万円**

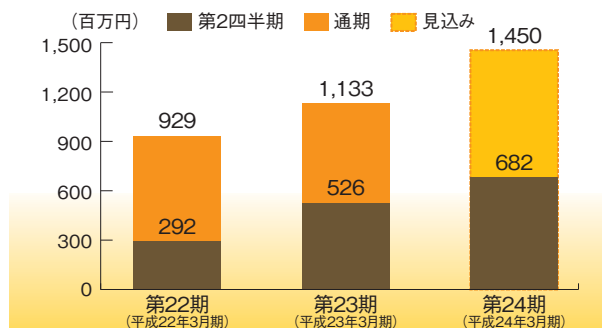
四半期純利益 **390百万円**

純資産 **7,713百万円**

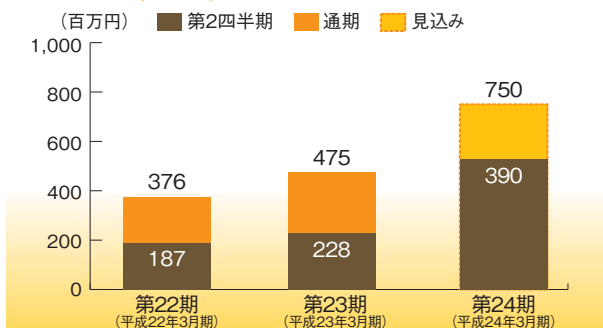
● 売上高の推移と見込み



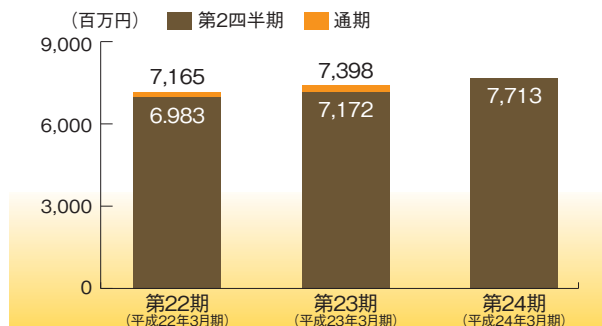
● 経常利益の推移と見込み



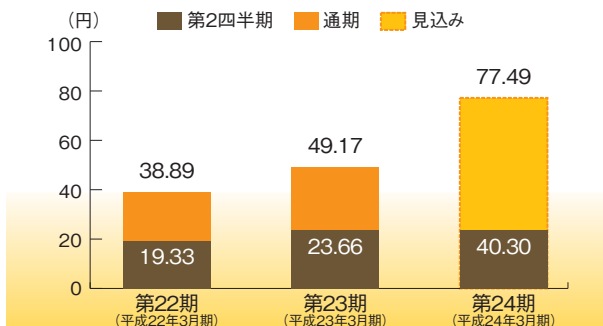
● 四半期(当期)純利益の推移と見込み



● 純資産の推移



● 1株当たり四半期(当期)純利益の推移と見込み



(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



株主の皆様へ

第24期(平成24年3月期) 第2四半期決算報告について

代表取締役社長
石川 憲和

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の経済停滞を脱し、ゆるやかな回復が見られました。また、ソフトバンクグループにおいては、通信事業関連を中心に積極的な設備投資が継続しました。

このような状況下、当社は引き続き「System Integrator から Service Integrator へ」を標榜し、事業のService化と体系化を推進してまいりました。

お客様のオンラインビジネスを加速させるイービジネスサービス(Online Business Solution & Service)事業では、EC-BPO Serviceでの収益率向上、Web-Marketing Serviceでの新規顧客を中心とした拡販に注力してまいりました。

お客様のクラウド化を支援するソリューション(Cloud Enabling[®])事業では、IDC事業者やグループ会社向けのクラウド化支援サービスが好調に推移しました。

また、今期より新たに展開したWebフォントサービス「FONT+」やiPad営業支援サービス「Smart Catalog Access」においてもEnterprise向け導入案件を獲得したほか、東日本大震災後の省電力への投資意欲を受けて省電力・高密度サーバ販売も伸長しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は14,851百万円(前年同期比+6.5%)、営業利益684百万円(前年同期比+44.8%)、経常利益682百万円(前年同期比+29.6%)、四半期純利益390百万円(前年同期比+70.3%)となりました。

当第2四半期は配当を行いませんが、当期末におきましては、前期末に実施しました1株あたり16円を基準に検討してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

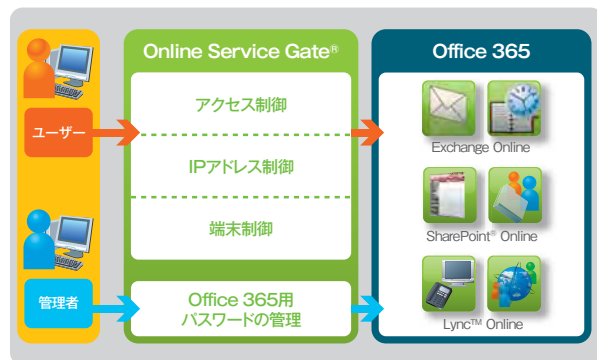
トピックス

01 自社メールシステムとして、 日本マイクロソフトクラウドサービス 「Office 365」と自社クラウドサービス 「Online Service Gate®」を採用

従来、自社で構築・運用していたメールシステムを、日本マイクロソフト株式会社（以下、日本マイクロソフト）の提供するクラウドサービス「Office 365」と、Office 365のアクセス制御を実現する自社サービス「Online Service Gate®」の利用に切り替えました。

当社では社内のメールシステムとして、長年にわたって活用してきたMicrosoft® Exchange Serverの更改時期を迎えたことを受けて新たなメールシステムの検討を開始していましたが、時を同じくして東日本大震災が発生し、緊急的に「BCP対策」の作成と実施も同時に求められました。このような中、当社では新しい情報基盤として日本マイクロソフトが提供するクラウドサービス「Office 365」の導入と、「Office 365」を利用する際にユーザー単位、利用PC単位にアクセス制御を実現する自社開発のクラウドサービス「Online Service Gate®」の社内導入を決定し、クラウドサービス利用への移行を完了させました。

今回のクラウドサービスへの移行により培ったノウハウをもって、お客様のクラウド化支援サービスを更に力強く推進してまいります。



02 Webフォントサービス 『FONT+(フォントプラス)』の提供開始 ～ フォントベンダー各社との 業務提携を順次拡大 ～

フォントワークス株式会社、株式会社イワタ、株式会社モトヤの3社と業務提携し、Webフォントサービス「FONT+」の提供を開始しました。また、株式会社白舟書体とも業務提携し、現在では、各社の提供する、約430書体（2011年10月末現在）のフォントを配信しています。

Webフォントとは、フォントがインストールされていないPCやスマートフォンといったデバイスでも、インターネットを介してフォントを読み込み、そのフォントを表示し、利用することができる仕組みです。

当社の提供する「FONT+」を利用することにより、Webフォント技術をスピーディに簡単に利用することができ、それによってサイトに組み込まれたフォントがインストールされていないデバイスでもWebサイトを作成したデザイナーのござわりで選んだフォントでWebサイトを見せることが可能となるため、より印象的で効果的な表現が実現できます。現在、各フォントベンダーに協賛いただき、雑誌「Web Designing」と共同で、Webフォントを使用した「Web Designing ウェブフォント デザインアワード 2011」を開催しております。

当社は引き続き、海外も含め広くフォントベンダーに「FONT+」への参加を呼び掛け、本サービスをマルチベンダーWebフォントサービスへと発展させるよう目指してまいります。



<http://pr.fontplus.jp/>

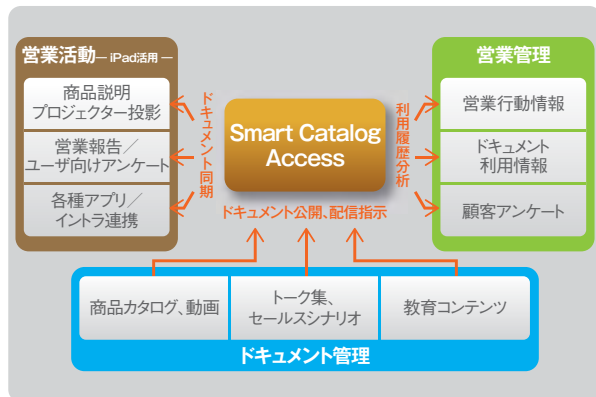
スマートデバイスを使った法人向け 営業支援サービスを提供開始

～ iPadを使って、クラウド時代の組織的な
営業活動を実現(営業スタイルの革新)～

米アップル社のタブレット端末(多機能携帯端末)「iPad」を利用した法人向け営業支援サービス「Smart Catalog Access」の提供を開始しました。

「Smart Catalog Access」は、電子化したカタログや提案書、動画などのドキュメントをネットワーク経由でiPadに配信する、法人向けのクラウドサービスです。法人、且つ社外で活動する機会の多い営業担当者の利用を想定し、①大容量ファイルでも高速に閲覧できるビューアを備え、②アカウント単位でのきめ細やかなアクセス制御などセキュアな利用環境を実現しています。また、③利用者単位でドキュメント閲覧ログを蓄積しており、サービスの中で提供する管理者画面ではファイル操作履歴などを確認できます。可視化された活動履歴を分析することで、業務効率の向上につながります。

今後も、図面データなど特殊な大容量ファイルや動画に特化したサービスなどフロントサービスのラインナップを充実させていくとともに、操作ログの分析機能やレポート表示、ファイル管理軽減のためのコンテンツマネジメントシステムなど、バックオフィスサービスも順次開発していく予定です。



東日本大震災の被災写真を デジタル保存と無償提供する プロジェクトに参加しました

福島県相馬市からの依頼を受け、当社は株式会社JVVIS(以下、JVVIS)、及び日本ヒューレット・パッカード株式会社(以下、日本HP)と三社共同で、被災地の復興支援の一環として、被災写真のデジタル保存と再プリントの無料提供プロジェクトを実施いたしました。

本プロジェクトは、JVVISの写真複製技術、日本HPのオンラインフォト保管サービス「Snapfish」により、激しい津波や泥水流などで大きくダメージを受けた写真や、バクテリア等の影響で色落ちした写真をデジタル化し、希望される方には写真をDVD-Rに保存及び再プリントしてご提供するものです。

2011年8月、旧相馬女子高校校舎内で被災写真の受付を行い、第一回受付8,660枚、第二回7,522枚、第三回8,137枚、累計枚数24,319枚の写真のデジタル化を実施いたしました。



事業の概況

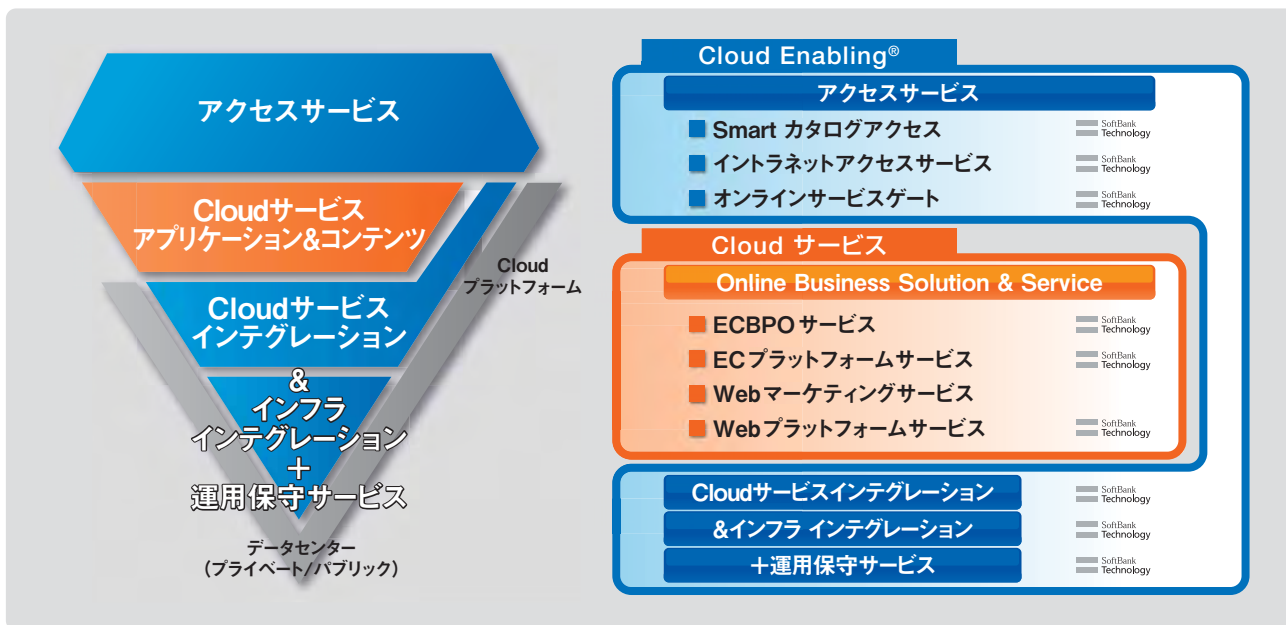
事業の概況

当社は「System Integrator から Service Integrator へ」を標榜し、事業のService化を進めてまいりました。その中で、「Online Business Solution & Service」と「Cloud Enabling®」、2つの事業領域へと体系化させてまいりました。

お客様のオンラインビジネス展開を加速させる「Online Business Solution & Service」事業領域では、具体的には①クラウドサービス化されたECプラットフォームおよびコンテンツマネジメントシステムを基盤に、ECを総合的なビジネスプロセス全体としての受託サービスなどの「ECプラットフォーム & BPO サービス」、②Webアクセス解析サービスや、そのコンサルティングサービス、及び、Webを通じてのフォント配信などの「Webマーケティング&プラットフォームサービス」で構成されています。

従来からのNi、Si、運用のノウハウを結集し、お客様のクラウドを最適化すること、及び、お客様の安心で快適なクラウドサービスへの移行と利用を実現させる「Cloud Enabling®」事業領域では、具体的には①モバイル及びPCからセキュアにクラウドサービスにアクセスするための「アクセスサービス」、②各種クラウドサービスをインテグレーションする「Cloudサービスインテグレーション」③サーバー、ストレージ、セキュリティ、ネットワーク分野での多様なプロダクトを活用した「インフラ インテグレーション」、さらに④インテグレーションしたシステムをセキュアに24時間365日運用保守する「運用保守サービス」で構成されています。この2つの事業軸を中核として、これまで以上にお客様のビジネス拡大に貢献してまいります。

事業の概況



イービジネスサービス事業



当第2四半期連結累計期間の売上高は8,960百万円(前年同期比+0.7%)、営業利益は448百万円(前年同期比+26.4%)となりました。

当事業の中核を成す「EC-BPO Service」においては、国内におけるウイルス対策ソフト販売で安定的な売上高を確保する一方、事業の選択と集中による収益率向上策を進めたことで増益となりました。

また、さらなる事業拡大のため東アジア諸国でのサービス提供も開始しており、順調に売上を伸ばしております。

サービスの総合化をすすめている「Web-Marketing Service」についても、新規顧客を中心とした拡販により利益貢献を果たしております。

ソリューション事業



当第2四半期連結累計期間の売上高は5,890百万円(前年同期比+16.8%)、営業利益は236百万円(前年同期比+100.2%)となりました。

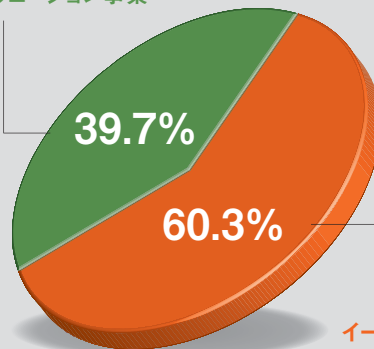
当事業では、Cloud Service へのセキュアなアクセスを可能にするAccess Serviceが順調に事業進展しております。「Online Service Gate®」が黒字化を果たすとともに、新たにサービス開始した「Smart Catalog Access」も大規模導入案件を獲得し、収益に寄与しました。

また、IDC事業者やソフトバンクグループ会社向けにクラウド化支援ビジネスが順調に推移したほか、震災を機に高まった省電力需要を受けた省電力・高密度サーバ販売ビジネスが大きく伸長しました。

事業別連結売上高構成比率

第24期 第2四半期
連結売上高(累計)
14,851百万円

ソリューション事業



イービジネス
サービス事業

四半期連結財務諸表

POINT 1

流動資産

主に現金及び預金の増加などにより、182百万円増加しました。

POINT 2

固定資産

主に投資有価証券の減少などにより、164百万円減少しました。

POINT 3

流動負債

主に買掛金の減少などにより、276百万円減少しました。

POINT 4

純資産

主に利益剰余金の増加により、314百万円増加しました。

四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	当第2四半期 連結会計期間 (平成23年9月30日)	前連結会計 年 (平成23年3月31日)	科目	当第2四半期 連結会計期間 (平成23年9月30日)	前連結会計 年 (平成23年3月31日)
資産の部			負債の部		
流動資産 ①	9,755,663	9,572,693	流動負債 ③	5,137,519	5,413,783
現金及び預金	4,957,433	4,065,127	買掛金	3,428,201	4,027,584
受取手形及び売掛金	3,590,567	4,163,928	未払法人税等	234,701	84,934
有価証券	298,292	496,835	その他	1,474,616	1,301,264
商品	48,796	56,893	固定負債	505,635	525,210
仕掛品	135,938	125,565	長期前受金	365,642	367,756
繰延税金資産	173,097	163,986	その他	139,992	157,453
その他	569,584	518,811	負債合計	5,643,155	5,938,993
貸倒引当金	△ 18,047	△ 18,455	純資産の部		
固定資産 ②	3,600,603	3,765,035	株主資本	7,691,399	7,439,273
有形固定資産	407,357	442,424	資本金	634,555	634,555
無形固定資産	551,230	503,929	資本剰余金	712,204	712,204
投資その他の資産	2,642,015	2,818,681	利益剰余金	7,092,192	6,840,066
			自己株式	△ 747,553	△ 747,553
			その他の包括利益累計額	21,712	△ 40,537
資産合計	13,356,266	13,337,728	純資産合計 ④	7,713,111	7,398,735
			負債純資産合計	13,356,266	13,337,728

(注1)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。(注2)POINTの記載は、対前連結会計年度末比となっております。

● 四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位:千円)

科目	当第2四半期連結累計期間		前第2四半期連結累計期間	
	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日		自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	
売上高 ①		14,851,574		13,944,191
売上原価		13,405,179		12,638,824
売上総利益		1,446,394		1,305,367
販売費及び一般管理費		761,448		832,369
営業利益 ②		684,945		472,997
営業外収益		34,227		57,051
営業外費用		36,471		3,148
経常利益		682,702		526,900
特別利益		43,209		161,720
特別損失		37,257		318,345
税金等調整前四半期純利益 ③		688,654		370,276
法人税、住民税及び事業税		221,706		230,574
法人税等調整額		76,892		△ 89,297
四半期純利益		390,054		228,999
その他の包括利益		62,250		△ 67,161
四半期包括利益		452,305		161,837

● 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	当第2四半期連結累計期間		前第2四半期連結累計期間	
	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日		自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	
営業活動によるキャッシュ・フロー		833,709		518,960
投資活動によるキャッシュ・フロー		208,364		△ 342,842
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 149,652		△ 164,878
現金及び現金同等物の増減額		892,421		11,239
現金及び現金同等物の期首残高		4,264,234		3,581,176
現金及び現金同等物の四半期末残高 ④		5,156,656		3,592,416

(注1)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。(注2)POINTの記載は、対前年同期比となっております。

POINT 1

売上高

イービジネスサービス事業の売上が堅調に推移したこと、ソリューション事業の売上増により、907百万円の増収となりました。

POINT 2

営業利益

クラウド化支援サービスなどが好調に推移した結果、211百万円の増益となりました。

POINT 3

税金等調整前 四半期純利益

投資有価証券評価損の減少などにより、318百万円の増益となりました。

POINT 4

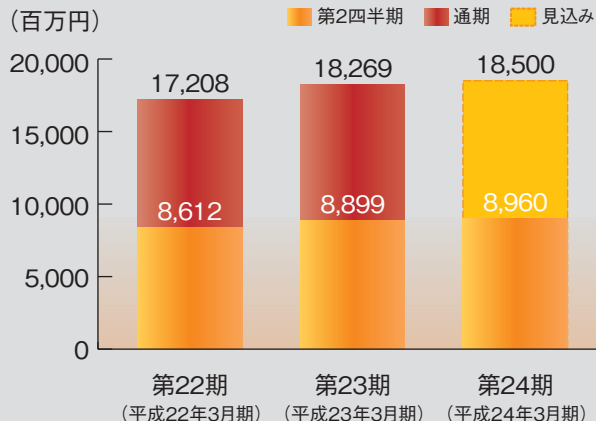
現金及び現金同等物の 四半期末残高

営業活動によるキャッシュ・フロー、投資活動によるキャッシュ・フローの増加により、期首から892百万円増加して5,156百万円となりました。

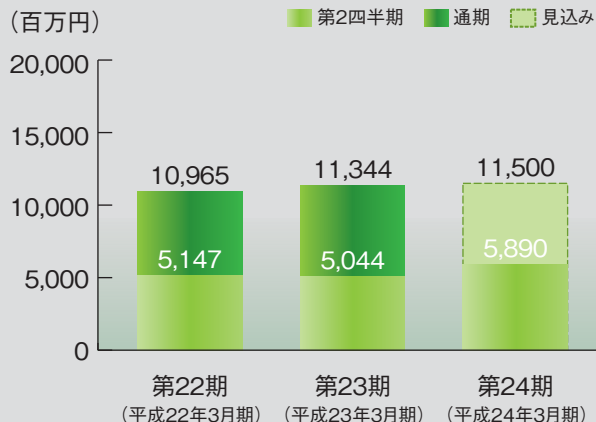
通期の業績見通し・会社概要

事業別連結売上高の推移

●イービジネスサービス事業



●ソリューション事業



(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

●通期の業績見通し

イービジネス事業におけるOnline Business Solution & Service事業領域では、「EC-BPO Service」で実施した収益性改善効果や、サービスの総合化を進めてきた「Web-Marketing Service」での収益性の向上を見込んでおります。

ソリューション事業におけるCloud Enabling®事業領域では、IDC事業者やソフトバンクグループを中心に、お客様のクラウド化を支援するビジネスが堅調に推移しているほか、自社開発したアクセス制御サービス「Online Service Gate®」の黒字化など、期首予想に比べて増益基調にあります。

さらに、今期より新たに展開したWebフォントサービス「FONT+」やiPad営業支援サービス「Smart Catalog Access」においてはEnterprise向け導入案件を獲得しております。

これらの状況を踏まえ、通期の業績は、連結売上高30,000百万円(前期比+1.3%)、連結営業利益1,450百万円(前期比+12.5%)、連結経常利益1,450百万円(前期比+28.0%)、連結当期純利益750百万円(前期比+57.6%)と予想しております。

●会社概要 (平成23年9月30日現在)

商 号 ソフトバンク・テクノロジー株式会社
 本店所在地 東京都新宿区西五軒町13番1号
 事業所 飯田橋オフィス(本社)、大阪支社、名古屋オフィス、福岡支社
 事業内容 イービジネスサービス事業およびソリューション事業
 ホームページ <https://www.softbanktech.co.jp/>
 資本金 634,555千円
 従業員数 420名(連結) 391名(単体)
 主な子会社 M-SOLUTIONS株式会社

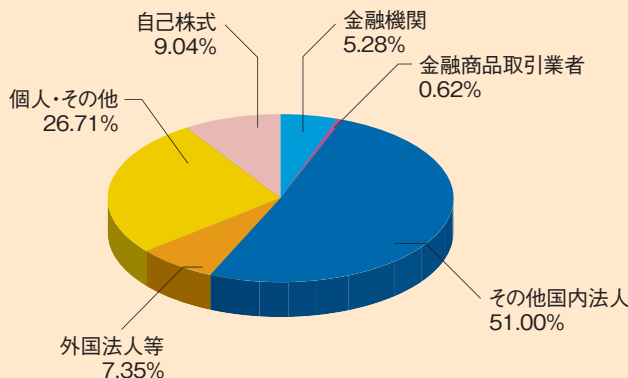
●役員 (平成23年9月30日現在)

代表取締役社長	石川 憲和
取締役	志水 直樹
取締役	桐 榮 誠一
取締役	中澤 信一
取締役	青木 克志
取締役	佐藤 光浩
取締役	丸山 耕市
常勤監査役	岩瀬 岑生
監査役	佐野 光生
監査役	後藤 芳光
監査役	三木 雄信

●株式の状況 (平成23年9月30日現在)

発行可能株式総数……………42,560,800株
 発行済株式の総数……………10,640,200株
 株主数……………4,636名

●所有者別持株比率 (平成23年9月30日現在)



●大株主 (平成23年9月30日現在)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
ソフトバンク株式会社	5,367,500	55.45
ビービー エイチ フォー フィデリティー ロープライス ストック ファンド (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	700,000	7.23
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	157,500	1.62
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	125,300	1.29
石川 憲和	120,000	1.23
山田 勝男	60,000	0.61
金子 博昭	50,000	0.51
真鳥 俊幸	39,000	0.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	36,100	0.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口6)	34,900	0.36

(注)持株比率は、自己株式(961,775株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金基準日 3月31日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
同連絡先 みずほ信託銀行 証券代行部
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
TEL.0120-288-324 (フリーダイヤル)
上場取引所 東証第一部(コード番号 4726)
公告方法 電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故
その他やむを得ない事由によって電子公告による掲載ができない
場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
<http://www.softbanktech.co.jp/>

お知らせ

- ①株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- ②特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記連絡先(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
(特別口座管理機関 連絡先)
三菱UFJ信託銀行 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL.0120-232-711 (フリーダイヤル)
- ③未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行本支店、みずほ銀行本支店およびみずほインベスターズ証券本支店でお受けいたします。

SBTメールマガジン

ソフトバンク・テクノロジーの事業内容のご紹介や、各種セミナーのご案内、お得なキャンペーン情報など、情報満載のメールマガジンを月1回程度お届けしています。

購読のお申し込みはこちらから <https://www.softbanktech.jp/campaign/mailmaga/>

ソフトバンク・テクノロジー 株式会社

〒162-0812 東京都新宿区西五軒町13-1 飯田橋ビル3号館
TEL. 03-5206-3300 (代表)

<https://www.softbanktech.co.jp/>

●本誌の内容に関しましては企画室IRグループにお問い合わせください。

企画室IRグループ TEL.03-5206-3316

※記載されている会社名、ロゴ、製品名等は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

